



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」

株式会社ロッテ
2025年7月9日(水)

ロッテインドネシアが新工場を建設 同国ソフトケーキ市場No.1^(*)「チョコパイ」生産体制を強化 2025年8月から生産開始

株式会社ロッテ（東京都新宿区、代表取締役社長執行役員：中島 英樹、以下ロッテ）はグループ会社、PT. LOTTE INDONESIA（以下ロッテインドネシア）のブカシ工場にチョコパイの製造工場を新たに建設しました。2025年7月8日に竣工式を実施し、2025年8月より生産開始予定であることをお知らせします。

ロッテインドネシアが2013年から製造販売している「チョコパイ」は、インドネシア国内でのソフトケーキ市場においてシェアNo.1^(*)です。今後更なる需要の拡大が見込まれるため、自社工場敷地内にチョコパイの新工場を増築し、生産強化を行います。これにより、生産能力は最大で約2倍にアップする見込みです。

また、新工場の屋上には太陽光パネルを設置し、発電容量726kWの太陽光発電設備を導入しました。発電した電力は新工場で使用し、年間約580トンのCO₂排出量削減を見込んでいます。ロッテでは、サステナビリティ目標「ロッテ ミライチャレンジ 2048」を掲げて、サステナビリティ経営を推進しています。その中で、脱炭素に関する目標に掲げており、省エネルギー活動と再生可能エネルギーの活用を推進しています。

今後もオリジナリティにあふれる高品質な商品を提供し、グローバル事業を推進してまいります。

（*1）ニールセン調べ

"PT LOTTE INDONESIA calculation based in part on Value/Volume Sales data provided by NielsenIQ through its Retail Index Service in Soft Cake category for the period 24 December 2023 – 23 December 2024 for Indonesia. (Copyright © 2025, NielsenIQ)"

サステナビリティ目標「ロッテ ミライチャレンジ 2048」
<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/>



ロッテ ミライ
チャレンジ 2048
創業100周年までに、未来のために実現したいこと



ロッテインドネシアのチョコパイ

【工場の概要】

- ・工場名：ロッテインドネシア ブカシ工場
- ・所在地：西ジャワ州ブカシ
- ・内 容：チョコパイ製造工場の建設
- ・延床面積：22,408m²（6,780坪）
- ・投資額：約78億円
- ・工事予定：2025年5月建屋完成
7月8日竣工式実施、8月生産開始予定
- ・生産能力：今回の増築により最大で約2倍にアップ



ロッテインドネシア ブカシ工場新工場の外観



【会社概要】

- ・法人名： ロッテインドネシア (PT. LOTTE INDONESIA)
- ・所在地： 西ジャワ州ブカシ
- ・代表者： Badai S. Kristanto
- ・従業員数： 539名（2025年3月末在籍人員数）
- ・事業内容： チョコパイの製造販売及びガム・ビスケットの販売
- ・設立年月： 1993年6月
- ・ホームページ： <https://www.lotte.co.id/id/home>

社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

※コアラのマーチ、トッポはビスケットカテゴリです

【ロッテインドネシア事業の歩み】

- 1993年 PT. LOTTE INDONESIA設立
ガム製造販売を開始
- 2007年 キシリトールガムを発売
- 2009年 コアラのマーチを発売
- 2013年 トッポを発売
- 2013年 チョコパイの工場を建設
- 2014年 チョコパイを発売
- 2025年 チョコパイの第2工場として、チョコパイ新工場を建設。

【ロッテインドネシアのチョコパイ商品特徴】

日本ロッテのチョコパイはケーキの間に**クリーム**をサンドしていますが、ロッテインドネシアのチョコパイは、現地のお客様の嗜好性や気候条件を考慮し、クリームではなく「**マシュマロ**」をサンドしたチョコパイを製造しています。ムスリムの方にも安心して召し上がっていただけるよう、ハラール認証も取得しております。



個売り、箱タイプの
チョコパイ



個売り、箱タイプの
チョコパイ〈ストロベリー〉